

第7期鹿追町総合計画策定会議専門部会議事録

専門部会名	総務専門部会（第3回）	議事録作成者	企画課企画係 係長 迫田 明巳	
開催日時	令和5年9月26日 13:30 ~ 14:30			
開催場所	消防署2階会議室			
委員 事務局等 出 欠	出	部会長 佐々木和男	出	総務課長 葛西 浩二
	出	副部会長 井出 健一	出	町民課長 高瀬 俊一
	出	委員 藤田農夫治	出	総務課財政担当課長 武者 正人
	欠	〃 森住 松夫	出	総務課主幹 西垣 慎也
	出	〃 三反崎里香	出	企画課長 草野 礼行
	欠	〃 林 正信	出	瓜幕支所長 東原 孝博
	出	〃 上嶋 京子	欠	議会事務局長 坂井 克巳
	出	〃 森内 政宏	出	消防署長 内海 卓実
			出	企画課 迫田 明巳
出席者	なし			
1. 開 会	<input type="checkbox"/> 葛西総務課長（グループリーダー）			
2. 部会長挨拶	<input type="checkbox"/> 佐々木部会長			
3. 議 事	<p>①前回説明分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高瀬町民課長（第4章 5 ごみ処理、リサイクル P15-P18）</li> <li>● 高瀬町民課長（第4章 9 防災 25-P27）</li> <li>● 東原支所長（第5章 5 瓜幕地域の振興 P57-P60）</li> <li>● 葛西総務課長（第5章 7 行政運営 P64-P67）</li> </ul> <p>→質疑応答なし</p> <p>②前回まで説明分の質疑応答</p> <p>→質疑応答なし</p> <p>③本日説明分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高瀬町民課長（第4章 10 交通安全、防犯）</li> </ul> <p>→質疑応答なし</p> <p>④第1回～第3回部会分までの全体質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 森内委員：LGBTの内容を入れる項目について疑義</li> <li>● 内海署長：町民を対象とした防災訓練について意見</li> <li>● 藤田委員：町民を対象とした防災訓練について意見</li> <li>● 森内委員：デジタル化の時代における町民への対応について意見</li> </ul>			
4. 今後の予定	<input type="checkbox"/> 迫田企画係長 これで予定された3回の専門部会が終了。ここで出された意見を反映させてコンサルと見直し案を作成し、専門部会の正副部会長と課長職で構成する策定会議に諮っていく。その後、審議会に諮る。審議会で意見が出されれば、再度、専門部会に諮るということにな			

	<p>ろうかと思うが、そうでなければ専門部会の審議は本日で終了となる。</p> <p>□葛西総務課長 審議会の意見がどういう形になったとしても、最後までどのように整理したかは事務局から計画案を送付する。</p>
5. 部会長挨拶	<p>□佐々木部会長 長時間に渡る審議に感謝。デジタル化の話題も出たが、私もアナログ世代。そういった世代の方は、意欲的になれる方と、取り残される方と別れてしまう。私も時代の流れについていけるようにと思っている。</p>
6. 閉 会	□葛西総務課長
発言者	主な発言内容
	(資料に沿って説明。資料記載以外の主な発言内容を記載)
森内委員	● LGBT の話を男女共同参画のところに入れる話があったが、どうもそこにはそぐわないような気がしている。「男女共同参画」という項目の名称を変えた方が良いのではないかなと思うが。
草野課長	● 仰る通りとは思いますが、今回は中間見直しなので、項目の名称を変えることは考えていない。では、どこに入れるのが適切かとこちらも悩んでいる。例えば「コミュニティ」はどうか。
森内委員	● そこでもいいとは思いますが、調整していただければと思う。
藤田委員	● こちらに一度預らせていただきたい。
草野課長	● 基本的人権に関わる部分だと思う。
	● この後、審議会や事業を委託しているコンサルにも確認してどのようにしていくのがいいか考えたい。いずれは鹿追町でもそういった事例も出てくるのではないかと考えている。
草野課長	● 「ごみ処理、リサイクル」のところ、「新中間処理施設の建設を検討」となっているが、建設するかどうかは決まっているのではないかな。
高瀬課長	● 建設することと、その運営事業者については既に入札で決まっている。
草野課長	● それでは、建設すること自体は決まっているので表現を改めた方が良く思う。
草野課長	● 「防災」のところ、「国土強靱化地域計画」とあるが、既に鹿追町の計画が策定されているので「鹿追町強靱化計画」とした方が良く。
内海署長	● 「防災」のところ、「防災フェスティバル」の開催よりも、町民を対象にした防災訓練をきちんと実施すべきではないか。ライフラインが寸断されたときの避難をどうするか、段ボールベッドをどう活用するのか、避難所での生活や運営など。
藤田委員	● 役場、消防署、消防団は分かっているけど、いざというときに町民は行動できない。実際に行動することが大切。毎年は難しいかもしれないが、2年に1度でもよいと思う。鹿追町は地震に強い土地だが、地震は日本中で頻繁に起きている。
内海署長	● あくまでも訓練なので失敗してもOK。何回も重ねることが大

草野課長	<p>事。異常気象で大雨の災害も大きい。千島海溝の大地震のことも想定される。鹿追町にも震度6クラスの地震が来ることは容易に想定できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 計画への記載の観点で言えば、既に二項目目に訓練は記載されている。</li> </ul>
内海署長 藤田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 関係機関だけじゃなく、町民を対象にすることが大切。</li> <li>● フェスティバルはあってもいいが、町民の行動を伴うものが必要。</li> </ul>
草野課長 内海署長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防災訓練は各事業所で実施できているか？</li> <li>● 学校などは義務なので実施している。各施設、事業所はその施設で想定される災害等によって実施している。関係機関も大切だが、町民を巻き込むことが大切。</li> </ul>
葛西課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在の計画では上段は啓発活動、下段は訓練のことが記載されているので、加えるのであればどのように加えていくか。</li> </ul>
草野課長 内海署長 藤田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 過去に全町的な防災訓練は実施されているか。</li> <li>● 平成27年度に実施してからは実施されていない。</li> <li>● 訓練ができなかったとしても文書でお知らせして、具体例を出してアドバイスをしておくことが町民にとっては良いと思う。</li> </ul>
東原支所長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政区に防災委員もいる。そういう人を活用する、集めるということも良いのではないか。</li> </ul>
藤田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般町民にとっては全然わからない。どこに避難するか、ベッドがどこにあるか、そういったことが分からない。安心できるように対策が必要。</li> </ul>
森内委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタル化のことであるが、ある人と話をしていて昭和世代の人はついていけないという人もいる。そういう人も取りこぼさないような取り組みをお願いしたい。</li> </ul>
草野課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和2年度に農村地区の光回線が整備された。整備されたものをうまく使えるように、そして取りこぼしがないように、そういった取り組みは大切だと思っている。ここ3年間、スマホの教室を町で実施している。なるべくそういった教室などをまめにやっていきたい。老人会にも出向いて、そのような案内をしている。</li> </ul>
森内委員 草野課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 必要性が無いと、どうしても興味を持ってない。</li> <li>● 周囲の人や家族などの協力も必要。広報誌、防災無線に加えて、<b>mishika</b> というお知らせメールでも情報発信している。こまめにやっていくしかないと思っている。</li> </ul>
葛西課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今、アナログとデジタルの過渡期だと思う。少しお金もかかるかもしれないが、両方やっていく必要がある。</li> </ul>
森内委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● J Aでも電子マネーを始めたが、やはり利用者に教えていくしかない。現金との比率でいうと、電子マネーとQRコードで全体の半分くらいは利用がある。</li> </ul>
草野課長 井出副部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 瓜幕地域におけるキャッシュレスの現状はどうか。</li> <li>● J Aくらいだと思う。全然進んでいない。au payの話もあつたが断った。クレジットも元々やっていない。手数料が大きい。</li> </ul>

東原委員	● 農家の方はもともと組勘制度があるので、現金を使わないことに慣れているところもあり、JAでの利用が大きいのではないかととも思う。
------	---